



交通安全情報No.30

ストップ・ザ・交通事故

令和8年8月12日

警察本部交通部

交通総合対策センター

夜間、横断歩行者被害の死亡事故発生

8月10日(月)午後11時頃、札幌市清田区(市道)において、軽四乗用車と道路横断中の歩行者が衝突し、歩行者(男性)が亡くなりました。

事故につながる
危険なサイン



見えていますか?

ハイビームの活用とスピードダウン

薄暮時間帯や夜間は、交通事故につながる危険な状況を見落としやすくなります。前照灯をハイビームにすることで、交通事故につながる危険を早期に発見し、回避しやすくなりますので、交通状況にあわせて前照灯の切り替えをこまめに行いましょう。また、運転中は常に事故の危険が伴いますので、信号機や横断歩道がない幹線道路であっても横断歩行者がいると考え、速度を落としてしっかりと進行方向の安全を確認しましょう。

信号機や横断歩道の利用と反射材の着用

歩行者から車が見えても、車のドライバーから歩行者は見えていないかもしれません。外出するときには、明るい色の服装と反射材を身に付けて、信号機や横断歩道のある場所から道路を渡りましょう。

